

予算決算委員会総務文教分科会会議記録  
(補正予算審査)

1. 日 時	令和4年6月16日(木) 14時20分開議 令和4年6月16日(木) 15時20分散会
2. 場 所	委員会室
3. 出席議員	向井千尋座長、原田豊彦副座長、足立義則委員、 安井博幸委員、隅田雅春委員
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	・議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)
6. 議事の経過	<p>向井座長 挨拶</p> <p>向井座長 開議宣告</p> <p>14:20 開議</p> <p><b>■行政経営部</b> 日程第1 議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)</p> <p><b>【主な説明】</b> 行政経営部 別紙のとおり(資料1)</p> <p><b>【主な質疑】</b> なし</p> <p><b>■企画総務部</b> 日程第1 議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第5号)</p> <p><b>【主な説明】</b> 企画総務部 別紙のとおり(資料2)</p>

### 【主な質疑】

隅田委員 バス事業者の名前をお聞きしたいのと、タクシー事業者、前回のとき 21 台だったと思うんですが、今、18 台と言われて、3 台を削除されたのか、前回は 1 台につき 10 万円配られたと記憶しているが、去年でしたか、おとしでしたか、そのときは 21 台だったと思うんですが、登録台数が 18 台に減ったという認識でいいんでしょうか。

企画総務部 バス事業者につきましては、神姫グリーンバスになります。  
タクシー事業者の支援金の事業につきましては、昨年令和 3 年度の補正予算では日本交通のみの 19 台ということであげさせていただいておりました。その前の年、令和 2 年度については高田タクシーがございましたので、その関係で台数は 23 台です。

安井委員 バスは今上限 200 円というのがありますね。  
それとはまた別の事業に対しておこなうという理解でよいのですか。

企画総務部 そのとおりでございます。

### ■こども未来部

#### 日程第 1 議案第 40 号 令和 4 年度丹波篠山市一般会計補正予算（第 5 号）

### 【主な説明】

こども未来部 別紙のとおり（資料 3）

### 【主な質疑】

隅田委員 クーポン券の委託先というのはどこになりますか。

こども未来部 組織といたしましては、丹波篠山市商工会、篠山観光協会、篠山金融協会、と市などが入りまして、丹波篠山市クーポン券配布実行委員会を発足して対応することとしております。

隅田委員 その実行委員会というのは、商工会の中にあるというような認識で良いのでしょうか。  
例えば、商工観光課の方は、商工会、例えば店舗が、クーポン券を持ってきて現金に換えるとかという作業をされると思うんですが、こちらの分も

、向こうの委託先とこちらの委託先は、同じ委員会という認識でいいんでしょうか。

こども未来部 子育て応援クーポンとおしゃれなワクワク都市クーポン券については、同実行委員会、プレミアム商品券に関しましては、実行委員会ではないと聞いております。

こども未来部 事務は3事業とも同じ形態ですが、委託は事業ごととなります。

隅田委員 クーポン券が世帯人数の多いところは、ある程度の金額になったりすると思うんですが、例えば、この12月末で終わるのではなくて1月末まで延ばすとなると、何か不都合なことというのはあるんでしょうか。  
例えばその分を、正月に使いたいとかいうことが、可能というような形にはならないですか。年内に終えたいということでしょうか。

こども未来部 このクーポン券配布事業を実施するにあたり、観光交流部と市民生活部で打合せを行いました。

その時の協議では、換金の関係でということと、余り長い期間をとるとするのも難しいということと、1番お金が出ていく時期ということと12月末までという形での話し合いをいたしました。

足立委員 今回の隅田委員の質問で、その商工会関係で、利用店として募集をかけて、そこで使えますとなると、各券によって、この券は、12月末、この券は1月末とかやったら、それをやる参加店側もややこしいからということで、統一したほうが、応募しやすいであろうとか、混乱は無いだろうという話もあったり、あと残った部分の金額で、次に、違った事業で使えるというようなこともあって12月31日でされたと思うんですが、やっぱり18歳以下の子供たちがもらって子供たちが使うとなるとお正月にも、お年玉などの関係で、年明けには子供向けの販売活動が行われると思うので、今のままであると年明けには使えないということになるので、もう一度期間の検討をいただいて、例えば1月の末にするとかしていただくと、商店のほうもお正月商戦が入ってくるから、喜ばれるのかなと思うのと、使う子供たちも、喜ぶのかなという気もしますので、そのところを調整いただきたい。ただ、ばらばらになると店側も、金融機関も、困ると思うので、おそらく、統一してくれとは言われるとは思いますが、多分、1月中ぐらいに期間を設定したら、結構使っていただけたらと思います。

す。そうなるとなんか余金とかも残らないと思うので、実施するまでいいので、この計画自体は別に悪くないので、使用期間を一度再検討していただいたらうれしいと思います。

こども未来部 今、隅田議員と足立議員からいただきました御意見ですけれども、実際利用される方からすると、期間が少しでも長いほうがいいのかと思います。特にお正月に向けてですね、使いたいという方もいらっしゃると思いますので、この3か月という使用期間についてはこの3つのクーポン券と商品券を担当する部署で、いっしょの方が良いだろうということではしておりますのでほかの委員会でも、たぶん色々な意見が出ているかと思っておりますので、もう一度十分な協議をさせていただいて、最終12月31日となるかもしれませんし、もう少し期間を延ばすことになるかもしれません。そこは、これからの実施の段階で、利用者が少しでも利用しやすいように、そして市内にお金が回るような形で検討したいと思っております。

安井委員 この商品券の送付については普通郵便なんですか、それとも、何か考慮した方法になるんですか。

こども未来部 郵送方法として予定しているのは、ゆうパケットを想定しております。追跡調査ができるような形の郵送方法を考えております。

安井委員 1件あたりの金額はいくらですか

こども未来部 入れるクーポンの冊数によって、金額が違ってきます。  
1センチ以内でしたら、204円です。  
それが、3人分から5人分入れようとしますと、1センチを超えますので310円ということになりますので、世帯の子供の数によって異なります。

安井委員 今回500円券にされた理由を教えてください。

こども未来部 500円にした根拠というのは、3つの課で同時に事業を行います。観光交流部は1000円券ということで今協議しているんですけれども、やはり子育て世帯ということを見ると、小さな支出にも使っていただきたい。使ってもらってもおつりが出ませんので、少額のものでも、このクーポン券で使っていただきたい。

多分 500 円でも 1000 円でもどちらでも良いと言われる方もいらっしゃると思いますが、500 円のほうが冊数としては多くなりますけれども、使いやすいのではないかということから 500 円ということですので。マイナンバーカードのほうのクーポン券も 500 円ということでしたので、そちらと合わせたような形にしております。

向井座長 積算は大体、何人ぐらいの子供たちの数ということでされていますか。

こども未来部 3 月末時点で 5500 名ほど 0 歳から 18 歳相当年齢の方がいらっしゃいます。そこから、出生の見込みと転入の見込みを、併せまして、最大で 5900 人という形で見込んでいます。

こども未来部 竹見課長が申しあげましたのは、12 月末までということでの話しですので、使用期間が延びましたら、もう少し人数的には増えてくるかもしれません。

安井委員 ちょっと気になっているのが、金券なので偽造防止などの対処は何か考えているのですか。

こども未来部 はっきりしたことが把握出来ていないので、そこは以前からクーポン券の発行をしている観光交流部に確認をさせていただきたいと思います。

#### ——— 観光交流部 ———

こども未来部のクーポン券の事業に関連して詳細を確認するため観光交流部に対して質疑をおこなう。

向井座長 こども未来部の補正予算に関連して何点かお聞きをしますのでよろしくをお願いします。何か質疑はありますか。

原田副座長 取扱い店のことで聞いたかったんですが、その取扱い店の審査基準では、市の商工業振興基本条例を遵守しているところだけなのか、それとも、もっと広く、商売されていたらできますよというようにしているのかお聞きします。

観光交流部 取扱い店につきましては、商工会の加盟店とか観光協会に加盟されて

いるところだけではなく、広く募りたいと考えております。

足立委員 先ほどの子育て支援の1万円のクーポン券構成は、20枚であるという話しでしたが、そこで話しがでたんですが、使用期限は12月31日で全部統一したということで、たぶん産業建設分科会でも、話しが出たのではないかと思うんですけども、こどもがもらって、こどもが使う場合のお正月用の何かお年玉も含めて、何か買おうかということであれば、できたら1月も使えるようにならないかといった話とかがありました。例えば1月の末までに、延ばすことで、何か不都合がないのであれば、協議していただいて、やり方とかシステムはこのままで良いんですけど、使える期限だけを、統一した形で延ばすことが可能ならば、検討していただきたいということが、先ほど意見としてありました。私も同じ考えなのですが、そのあたりはどうですか。

観光交流部 産業建設分科会の中でも、期間延長の話しはできました。3か月で、それだけのお金が見えるのかということで、できたらもう少し期間を延ばしてくれないかという御意見をいただきました。最初は3か月ということをお願いしていたのですが、議員の方からのご意見でもございますので、クーポン券の期間は合わせますけれども、期間の延長について検討させていただくということで回答させていただきました。関係部局集まりまして再度協議させていただきたいと考えています。

足立委員 あと、3種類のクーポン券については、違いがデザイン等でよくわかるようにしていただきたいと思います。特に500円券、1000円券などが混在するので、誰にでもはっきり違いが分かるようなデザインにしてください。特徴のあるデザインにしてほしいと思います。

観光交流部 おっしゃるとおり、違いがわからないようにならないように、例えば色をはっきり変えとかということを検討して進めております。

安井委員 500円と1000円の2種類あるということですが、先ほど教育委員会からは500円の額で、少額の物を買うのに便利であるということでしたが、私は1000円で統一したほうが良いのではという気がするのですが、部長はどのようにお考えですか、

観光交流部 当初、まるいのクーポン券を発行するに際しまして、少額の方が良いと考え、500円で実施してきました。

今回、プレミアム商品券を1000円にさせていただきましたのは、500円券にしますと100万枚以上の商品券を発行することになります。それと、これまでやってきました平成28年度、令和元年度の商品券につきましては1000円券でやってきました。

そこで額面に対する苦情というのはありませんでしたので、今回も発行枚数が多くなることにより、印刷費があがる、金融機関による換金手数料があがるということなどを考えさせていただいて、商品券につきましては1000円でのご提案とさせていただいております。御理解いただけたらと思います。

足立委員 安井議員が言っているのは、こども未来部の所管のクーポン券を500円ではなく1000円にしたらどうかということなんだけどそこはどうか。

観光交流部 当初からクーポン券は500円で実施してきましたので、ここで1000円に変えるという理由付けは難しいものがあります。こども未来部の提案は500円が使いやすいということであったと思います。

#### ■議員協議

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば発言をお願いします。

—— 部長、市長等への質問等なし ——

#### ■意向確認

日程第1 議案第40号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

—— 修正・反対等の意見なし ——

向井座長 この結果と、本日の執行部との質疑応答及び議員共有を含めた形で、分科会の座長報告を行いたい。報告については座長に一任いただきたい。

—— 異議なし ——

向井座長 また会議録等については事務局に調整させ正副座長において内容確認を行いたい。

—— 異議なし ——

原田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

15：20 散会